

ともいき講座・
授業「精神保健学 A」
共同開催。



京都文教大学



文部科学省

地(知)の拠点

若者の自死について 遺族とともに考える集い

日時：2017年7月5日（水）18:00～19:30

場所：京都文教大学 14号館 14201 教室

内容：18:00～18:30 「若者の自死の現状について」

松田美枝（京都文教大学臨床心理学部講師）

18:30～19:15 「息子の遺志を継いで生きる」

杉山悟氏（自死遺族）

19:15～19:30 質疑応答・感想分かち合い



※定員 80 名程度、参加無料、事前申込不要。

※近鉄向島駅発のスクールバス（無料）をご利用ください。

バスダイヤは次の通りです。【近鉄向島駅発 17:35・17:50・18:05・18:15】（本学までの所要時間約 5 分）

我が国では、年間 2 万 2 千人くらいの方が自死で亡くなっています。特に近年は若者の自死が多く、10 代後半から 30 代までの死因の第 1 位を占めています。思春期・青年期には、進路、対人関係、家族のこと、自分自身についてなど、さまざまな課題に直面し、悩みをひとりで抱えて将来を悲観してしまうこともあります。本公開講座では、まず若者の自死の現状について本学教員からお話し、その背景と考えられることについて踏まえた上で、死にたいくらい辛い思いを抱えた若者と接するときのポイントやサポート資源等について理解を深めたいと思います。後半は時間をすこし長めに取り、お子さんを 10 代で亡くされた自死遺族の体験談とメッセージにじっくりと耳を傾けます。質疑応答や分かち合いを通して、1 人の若者の自死がどのような事態であるかについて、共に現実を受け止めていきます。

【お問い合わせ】

京都文教大学 フィールドリサーチオフィス

TEL. 0774-25-2630

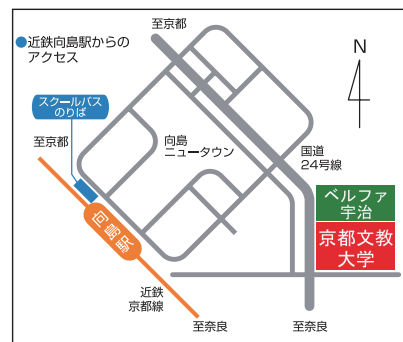
MAIL. fro@po.kbu.ac.jp 〈大学 HP〉 <http://www.kbu.ac.jp/kbu/>

〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足 80

【アクセス】

電車でお越しの方…近鉄向島駅下車。スクールバス乗り場にて乗車。あるいは徒歩 15 分。

自転車でお越しの方…京都文教大学内の駐輪場をご利用ください。



主催：

平成 26 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）京都文教大学「京都府南部地域ともいき（共生）キャンパスで育てる地域人材」地域志向教育研究共同研究プロジェクト「精神に「障がい」のある本人とその家族（ケアラー）への情報提供と支援に関する実践的研究」